

「いい農業にしよう運動」
についてはこちら→



危険な場所には注意喚起の表示をしましょう

◇注意喚起の表示をしよう！

- ☐ 危険箇所には表示板を設置するなど
わかりやすい工夫をする
- ☐ 危険箇所の表示例
 - ・電気柵に「触るな危険」
 - ・低い梁に「頭上注意」
 - ・段差に「足下注意」
 - ・暖房機に「高温注意」



◇危険箇所の再確認をしよう！

- ☐ 日頃からほ場の危険箇所を確認し、ほ場地図に
明記しておく



- ☐ 看板の設置等が難しい場合、朝礼での口頭注意等
作業開始前に危険ポイントの再確認を徹底する



電気柵は電気事業法で表示が義務付けられています。
外国人労働者がいる場合は外国語でも表示するなど、だれでも分かるような注意表示をしましょう。



上記はS-GAP取組項目の1つです。

S-GAP認証の取得にご興味がある方は下記にご連絡ください。

大里農林振興センター 管理部 地域支援担当 048-523-2812